

NOH-EN：気象データ 圃場レポート

合同会社ノーエン



作成年月日

<圃場所在地>

住所	福岡県北九州市		
緯度	経度	標高	65 m

<目次>	page1	気象要素平年値の目安について
	page2	気温平年値日間推移（平均気温・最高気温・最低気温・昼夜温度差）
	page3	降水量・日照時間・日射量平年値月間推移
	page4	平年気象状況を踏まえた農作物作付けに関するコメント
	page5	気象条件に対する農作物生育適合評価
	page6	地形を考慮した日照条件評価・土壌の水分条件評価

<気象要素解説>

- ・平年値：30年間(1991年～2020年)の平均値
- ・平均気温：1日の平均気温
- ・最高・最低気温：1日の中で最も気温が高い/低い1時間の気温
- ・降水量：月間降水量の合計値。
- ・日照時間：1日のうち一定以上の太陽の光を受けている時間。月間合計値。
- ・日射量：太陽から受けたエネルギー量。1日合計量を月間平均値で示している。

<ご利用上の注意事項>

本レポートは対象地の状況を極力正確に表現したのですが、各要素には不確実性を含みます。当該情報に基づいて起こされた行動により生じた損害・不利益などに対していかなる責任も負いません。

本レポート内容の著作権は、当社に帰属するか、当社が著作権者より許諾を得て使用しているものです。当社および著作権者からの許可無く、掲載内容の一部およびすべてを複製、転載または配布、印刷など、第三者の利用に供することを禁止します。

<気象要素平年値の目安について>

①気温

平均気温

区分	寒地	寒冷地	温暖地	暖地	亜熱帯
年間平均	9℃未満	9～12℃	12～15℃	15～18℃	18℃以上

最高気温

最低気温

- ・10℃以上:冷涼性野菜の栽培適温域
- ・20℃以上:高温性野菜の栽培適温域
- ・25℃:冷涼性野菜の栽培限界
- ・15℃:高温性野菜の栽培限界
- ・10℃以下:霜などの冷害発生可能性温度域

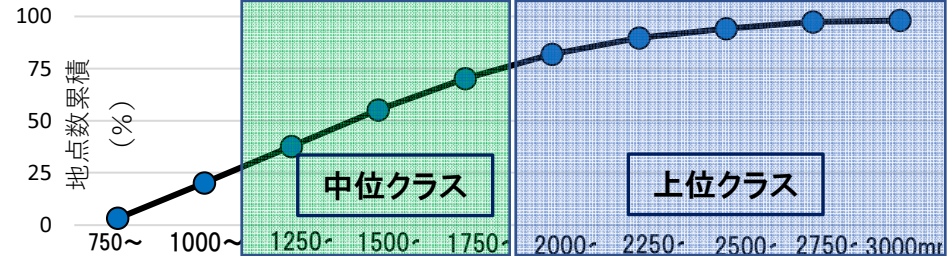
冷涼性野菜	高温性野菜
はくさい・キャベツ・レタス・しゅんぎく・ほうれんそう・セルリー・パセリ・みつば・ブロッコリー・だいこん・かぶ・にんじん・ごぼう・ねぎ・たまねぎ・にら・アスパラガス・えんどう・そらまめ	すいか・かぼちゃ・ズッキーニ・ピーマン・なす・えだまめ・オクラ・しそ・さつまいも・れんこん・さといも・しょうが・きゅうり・トマト・スイートコーン

②降水量

年間

月間

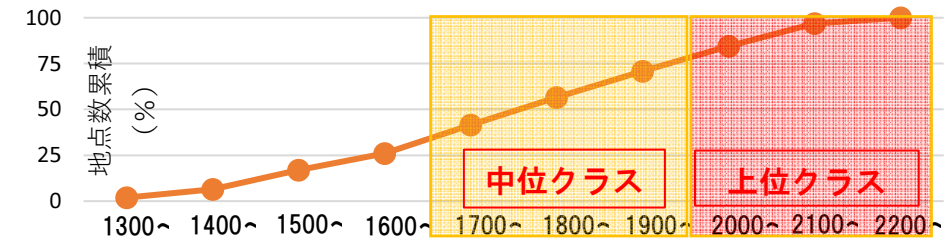
- ・1250mm以上:降水量中位地域
- ・2000mm以上:降水量上位地域
- ・50mm以下:降水量少ない
- ・250mm以上:降水量多い
- ・500mm以上:降水量特に多い



③日照時間

年間

- ・1700時間以上:日照時間中位地域
- ・2000時間以上:日照時間上位地域



④日射量

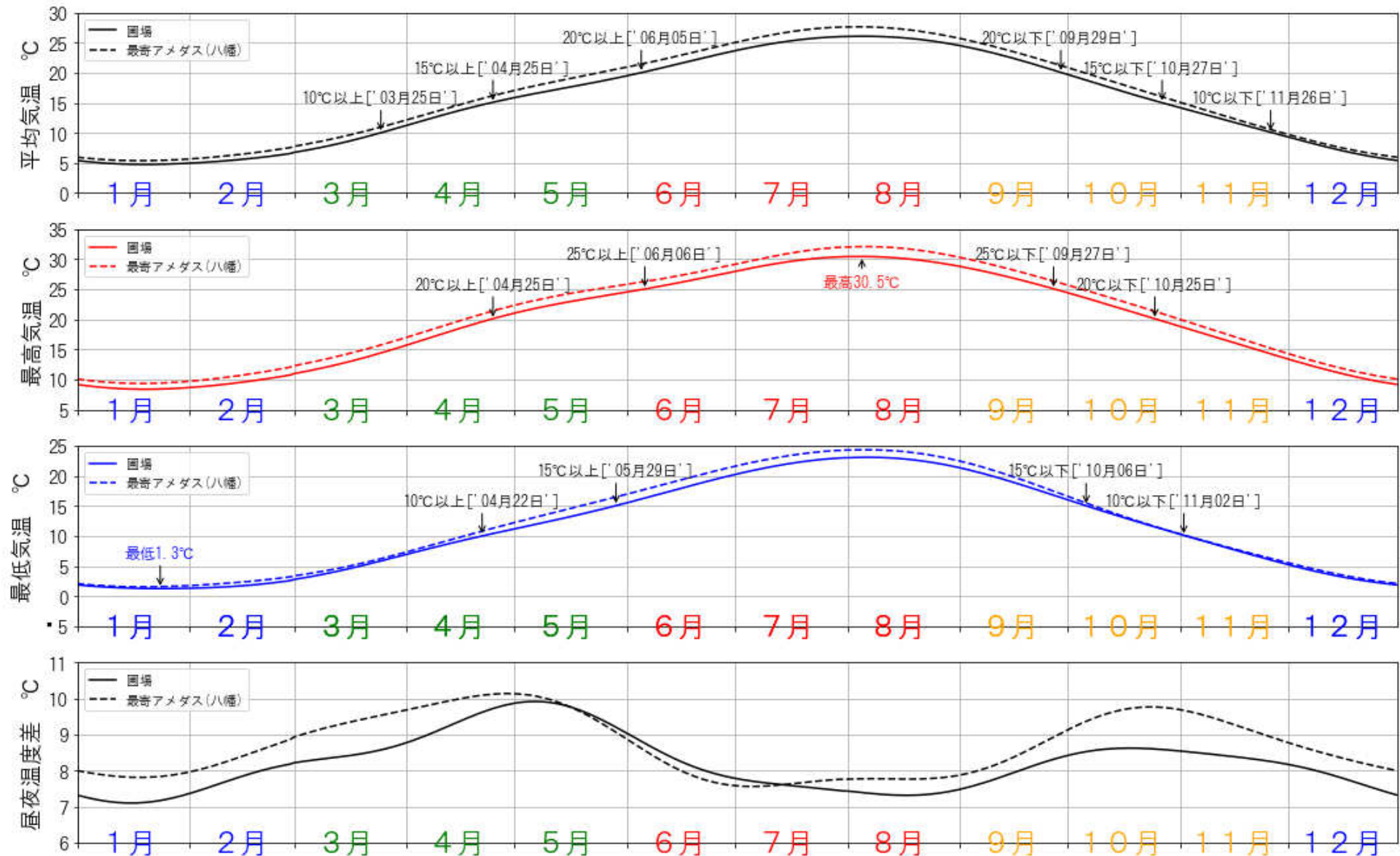
月間

- ・8.0MJ/m2以下:日射量少
 - ・12.0MJ/m2以上:日射量多
- (右表 代表的地点日射量)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
札幌	5.4	6.7	8.6	11.4	11.9	12.7	10.5	10.8	11.0	10.1	6.1	4.7
つくば	14.9	14.8	11.3	11.3	10.6	7.4	8.2	10.9	7.6	9.4	10.9	13.2
松本	12.3	12.7	12.8	14.0	13.8	10.2	10.8	13.8	9.6	11.5	11.7	12.1
潮岬	14.8	14.9	12.9	13.1	12.0	9.0	11.2	15.4	11.2	12.5	12.8	14.9
米子	4.3	5.3	7.9	11.5	12.9	9.8	11.1	13.3	9.4	10.6	7.3	5.8
鹿児島	9.4	9.9	9.0	10.3	10.3	6.8	11.4	12.6	11.1	12.5	10.5	10.7
那覇	6.1	5.5	5.8	7.3	8.4	10.6	15.9	14.1	13.1	10.8	8.3	7.7



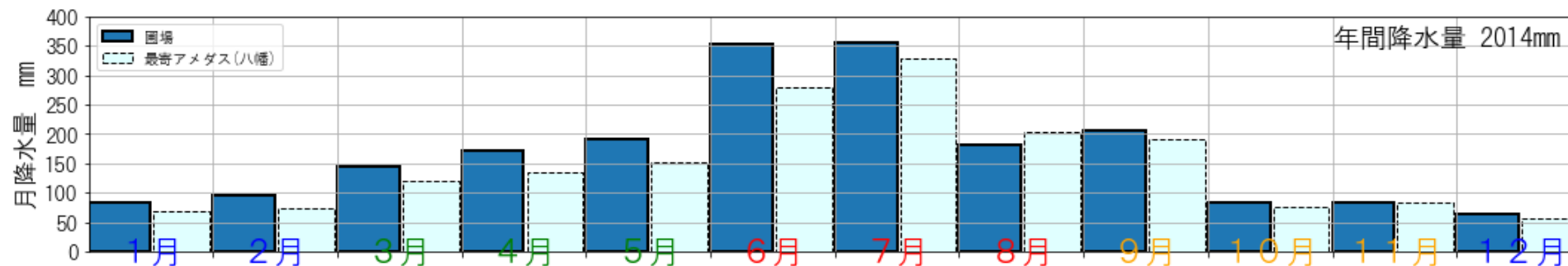
<気温概況:年間推移>



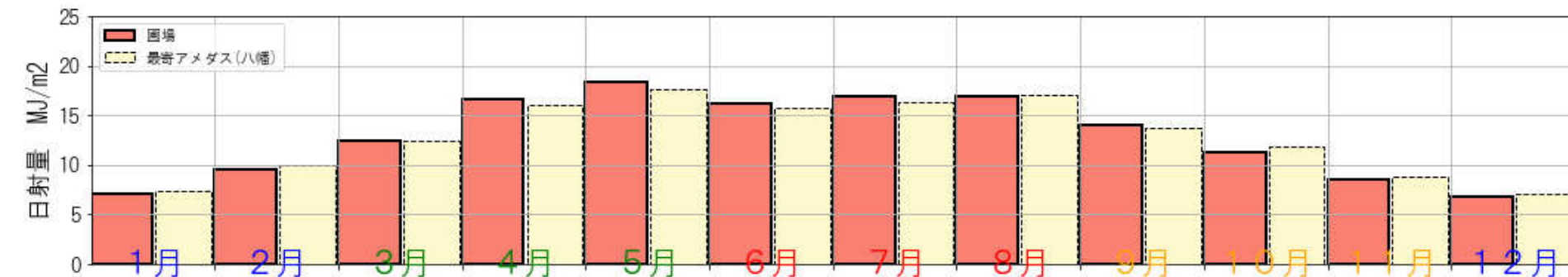
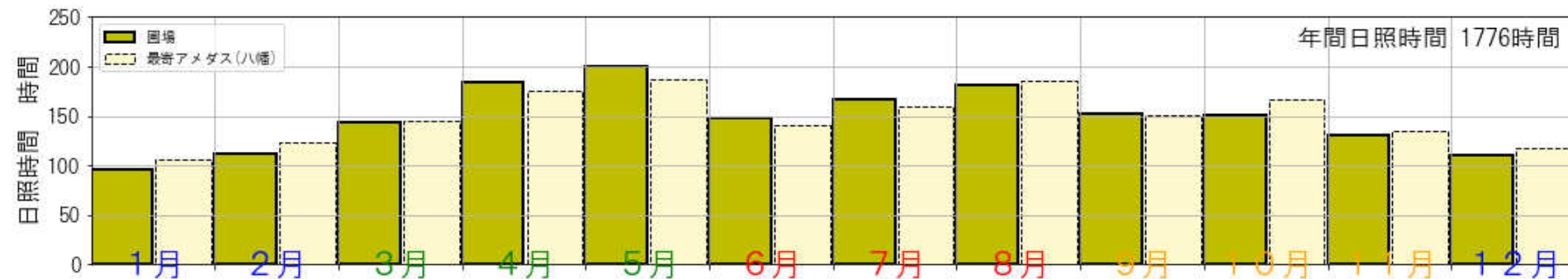
・昼夜温度差は(日最高温度)-(日最低温度)



<降水量概況:年間推移>



<日照・日射概況:年間推移>



※日照時間:一定以上の日射量(影ができる程度)があれば太陽が隠れていても日照時間としてカウントされる。

※日射量:単位面積が太陽から受ける放射エネルギーの量。ここでは全天日射量(太陽から直接届いたもの+雲などで散乱されたもの)の1日積算値。

<気温概況:コメント>

年間平均気温は15.4℃。最寄りアメダス観測点（八幡）16.1℃と比較すると標高が高いためやや寒冷である。8月下旬の最高気温は30.5℃で30℃以上となる日は少ない。また1月下旬の最低気温は1.3℃で0℃以下となる日はほとんどない。年間を通じてなんらかの農作物を耕作可能である。平均気温10℃以上の播種・定植適期は3月下旬～11月下旬である。夏季は最高気温がやや低く、昼夜温度差が7～8℃と比較的大きいため生產品の品質に有利である。八幡と比較すると夏季は最高温度、最低温度ともに顕著に低くなっており、生育により有利な条件となっている。

<降水量概況:コメント>

冬季に降水量が少なく夏季に多い太平洋側の降水分布を示しているが、最も降水量が少ないのは秋季であり、日本海側に面する立地条件から、冬季は雨（雪）雲の流入がある。年間合計降水量は2014mm。全国的に見ると上位にあたり、最寄りアメダス観測点（八幡）の1771mmに比べてもかなり多い。特に梅雨にあたる6～7月は月間雨量300mmを超え顕著に多くなっていて、東側に開けた山地に隣接する立地条件から局地的に雨雲が発達しやすい条件となっている。そのため梅雨時期の排水や水害には注意を要する。

<日照・日射概況:コメント>

冬季に顕著に日射量が低下する典型的な日本海側の分布を示している。年間日照時間は1776時間で全国的には中位であるが最寄りのアメダス観測点（八幡）も1793時間で月間の分布も同傾向であり地域的性質である。一方夏季は緯度が低いこと、秋季は天候が安定し、日照時間が長いこともあり、十分な日射量を確保でき、強い光を必要とする作物の耕作に適している。

<気象概況総合:コメント>

春季：3月下旬には耕作適期に入る。4月下旬頃までは霜に注意する必要がある。夏季：梅雨期の降水量は多い。盛夏期は日射条件や温度条件に恵まれている。秋季：降雨量は少なく日照時間は長く天候は安定している。11月下旬まで耕作適期が続く。冬季：日射条件は劣るものの、耕作可能な気温域で推移する。



＜気象条件適合評価＞

葉茎菜類				果菜類				根菜類		その他	
品目	評価	品目	評価	品目	評価	品目	評価	品目	評価	品目	評価
はくさい	B	葉ねぎ	A	トマト	A	えだまめ	A	だいこん	A	しそ	B
かぶ	B	にら	C	なす	A	スイートコーン	A	にんじん	A	パセリ	C
こまつな	A	たまねぎ	B	ピーマン	B	おくら	A+	ごぼう	A	しょうが	B
キャベツ	A	アスパラガス	B	きゅうり	A+			じゃがいも	A+	すいか	A
ブロッコリー	B	レタス	B	かぼちゃ	B			さつまいも	A		
セルリー	B	しゅんぎく	A	ズッキーニ	A+			さといも	B		
みつば	A	ほうれんそう	A	えんどう	B			れんこん	A		
根深ねぎ	B			そらまめ	C						

＜評価＞

- A+ 非常に適している。作付け適期が長く、収量や品質も期待できる。
- A 適している。作付け適期が長く他の作物との組み合わせる計画も作りやすい。
- B やや適している。ただし作付け適期が短いため作業計画を綿密に練る必要がある。
- C 栽培難易度が高い。栽培適期が限られるため特に栽培前期・後期は保温資材などの対策が必要。
- E 露地では栽培できない。

※注意事項

- ・各品目の生育条件と圃場の気象条件を入力値にしてコンピュータによる機械的手法を用いて評価を実施した。
- ・露地で栽培する条件のみでハウス等の環境制御設備は使用しない。
- ・1～3ページ目までの気象条件データのみを対象に評価。土壌など他のデータは評価に含んでいない。
- ・各品目の一般的な生育条件を入力値として使用。品種改良により対応できる品種が存在する可能性はある。

＜土壌条件＞

土壌分類	細粒質普通低地水田土
特徴	低地水田土は、本来なら水の利用が困難な場所に水を引いて水田耕作を行う結果として、水田利用による湛水期間中に代かき層から還元溶脱した鉄が下部の酸化層で酸化沈殿して形成された「水田鉄集積層」が発達する排水のよい（時に排水過良の）水田土壌で、自然堤防や扇状地に典型的に分布している。

※日本土壌インベントリー（<https://soil-inventory.rad.naro.go.jp/>）より引用

